

各位

秋山輝吉、森栄太、2名がピストル男子でリオ五輪出場権獲得

(公社) 日本ライフル射撃協会事務局

Tel.03-3481-2389



インドのニューデリーで、1月25日から開催中の国際射撃連盟アジアリオ五輪予選射撃大会二日目28日(木)(現地時間28日午後14時)に行われた25メートルラピッドファイアーピストル男子競技で、日本の秋山輝吉選手(あきやま・てるよし 宮城県警察所属、1971/12/25 生まれ44歳、宮城県出身)、森栄太選手(もり・えいた 自衛隊体育学校所属、1983/04/13 生まれ32歳、静岡県出身)、の2名が、秋山選手は本選4位で、森選手が本戦3位でファイナルに進み、ファイナルで、秋山選手が優勝、森選手が3位となって、両名とも決勝に進出した五輪出場権獲得資格のある選手の上位2名に入り、リオ五輪の日本の出場権を獲得しました。両選手の本人の初の五輪出場についても、この結果で内定しました。日本のライフル射撃競技でのリオ五輪出場は、ライフル男子の山下敏和選手(やました・としかず自衛隊体育学校)、ピストル男子の松田知幸選手(まつだ・ともゆき神奈川県警察)の二人につづき三人目、四人目となりました。なお、射撃競技ではこのほかにクレー射撃女子で中山由起枝選手(なかやま・ゆきえ)も出場権を獲得しています。

このラピッドファイアピストル種目は1984年のロサンゼルスオリンピック大会で日本の蒲池猛夫選手(故人・自衛隊体育学校)が五輪の射撃競技としては初の金メダルを獲

得した日本にとっても歴史のある種目です。

秋山選手のコメント（身長 167cm、体重 65 kg）

「長い間かかったが、出場権が獲れてほっとしています。次はしっかり調整して、真に獲りたいメダルを狙います。今まで支えていただいた全ての皆様に感謝いたします。ありがとうございました。」

森選手のコメント（身長 173cm、体重 76 kg）

「出場権を獲ったが、まだスタートラインに立ったばかり。リオに向けてもっとレベルアップして、今日よりも良いメダルを狙います。秋山さんを目指して、二人でメダルを獲ります。今まで応援していただいた方々にも、感謝の気持ちを持って頑張ります！」

ライフル射撃のリオ五輪出場権予選は、今回の大会が日本として最終予選となり、2月2日までの日程で、残り7種目での出場権17個をめぐりアジアの国々の選手が競技を続けます。

以上